

三沢市立三沢病院内科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 6年 横山理久斗

2023年3月20日から4月14日の期間、内科で実習をさせていただきました、弘前大学医学部6年の横山理久斗です。

内科系に非常に興味があり、三沢病院では一つの分野にとどまらず、幅広い疾患に触れることができるというお話を聞いていたため、内科での実習を希望しました。

この4週間は鈴木先生のご指導のもと、消化器内科を中心に学ばせていただきました。外来見学では、潰瘍性大腸炎や肝硬変といった患者さんを始めとし、胃癌・大腸癌・膵癌・悪性リンパ腫といった化学療法を施行している患者さん、関節リウマチやSLEといった膠原病の患者さんなど、満遍なく見させていただきました。同じ疾患であったとしても各々の患者さんにおいて、治療するうえで何を一番重要視すべきか、複数ある治療法の中から何を優先して選択すべきか、これまでの治療経過を詳細に分析し次の一手をどう選択するか、いわゆる「患者さんに合った適切な医療を届ける」というものを先生から学ばせていただくと同時に、それがいかに難しいことであるかということも再認識しました。



病棟実習では消化器疾患の患者さんはもちろんのこと、糖尿病、COPD、腎不全など複数の分野にまたがり臨床に触れることができました。鈴木先生には、患者さんの症状についての病態生理、適切な薬剤選択、輸液の選択、検査結果の解釈など、一つ一つ丁寧に事細かに教えていただきました。今までの知識を整理することができたのと同時に、これからの研修で役立つような知識を得ることができました。

また、内視鏡見学では上下部消化管内視鏡検査を始めとし、胃瘻造設、食道気管瘻に対するステント挿入、異物除去、ダブルバルーン内視鏡など、クリクラIでは見ることはできなかった手技をたくさん見ることができ非常に魅力的でした。

初めて耳にする疾患や薬剤、手技、忘れかけていた病態生理や基本的な知識に触れることができ、毎日がもの凄く新鮮で濃い実習になりました。内科の先生のみならず他科の先生方にもたくさん話しかけていただき、楽しい実習をさせていただきました。三沢病院で実習させていただいたことを非常に嬉しく思います。

最後に、些細な質問にも優しく答えて下さった鈴木先生、研修医の森先生をはじめとする先生方、看護師の皆様、医療スタッフの皆様、事務の皆様に感謝申し上げます。ご指導いただいたことをしっかりと振り返り、これからの実習に活かしていきたいと思っております。4週間大変お世話になりました、ありがとうございました。

2023.3.20～2023.4.14